



熱戦が繰り広げられたリオデジャネイロ五輪は大盛況のうちに幕を閉じ、今月7日にパラリンピックが開幕。1年5か月後には韓国の平昌で冬季五輪も始まります。日本でも平成10(1998)年に長野で冬季五輪が開催されました。この開会式当日、城東区内でひとりの女の子が産声をあげました。18歳になった今、彼女は平昌冬季五輪への出場を夢見て練習に励んでいます。

菫中学校出身のフィギュアスケート選手、加藤利緒菜さんです。今回は、在学当時の校長先生の紹介で、加藤さんにお話をうかがうことができました。

ピオンチャン 平昌冬季五輪をめざす 菫中学校出身 加藤利緒菜さん



器械体操で培った柔軟性

—スケートを始めたのは？

3歳のときに始めました。叔母(加藤ゆかりコーチ)がもともとフィギュアスケートの選手だったんです。その頃はプロのスケーターになっていて、私にもスケートを教えてくれました。叔母に連れられてスケートリンクに行き、遊び感覚で楽しんで滑っていましたね。

—本格的にスケートをしようと思ったのは？

フィギュアスケートの試合に出るためには、バジテストで級を取る必要があります。小学3年生のときに初めてテストを受けました。初級から始めて、



今7級になりました。

また、フィギュアスケートに役立てるため、小さい頃から器械体操も習っていました。とにかく楽しくて、小学4年生ぐらいまでは結構真剣にやっていましたね。でもコーチと相談し、やっぱりスケート一本に絞った方がいいと思い、体操はきっぱりやめました。体操で培った身体の柔軟性は、スケートに役

立っていると思います。

練習拠点は米国 ホームステイも体験

—練習場所は？

本格的にスケートを始めても、日本には夏でも滑ることができるスケートリンクが少なく、一年中練習できる環境を探した結果、中学2年生の夏から練習拠点をアメリカに移しました。

—アメリカでの生活はどうか？

ホームステイでお世話になったのがロシア系の方だったので、家ではロシア語が飛び交っていました。お互いあまり英語が喋れないし、本当に大変でした(笑)。

でも、スケートリンクに行くと、日本

- 加藤利緒菜選手の経歴
- 2010年10月(中一) 第14回全日本フィギュアスケートノービス選手権大会 1位
 - 2012年11月(中三) 第81回全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会 2位
 - 2013年2月(中三) 第33回全国中学校スケート大会 1位
 - 2014年11月(高二) 2014NHK杯国際フィギュアスケート競技大会 5位
 - 2014年12月(高二) 第83回全日本フィギュアスケート選手権大会 7位



▲第14回全日本フィギュアスケートノービス選手権大会で優勝



▲荒川静香さんとアイスショーにも出演。ショーで使ったオルゴールにサインを書いてプレゼントしてもらいました。

語が話せる人がいたんです。だから全く日本語と無縁の生活というわけではなかったのが、がんばることができました。半年後には叔母も来てくれて2人で暮らすようになり、ホッとしました。

—現在は？

今年の春に中京大学に入学しました。フィギュアスケート専用のリンクがあり、環境が整っています。リンクの使用時間が決まっているので、規則正しい生活ができています。アメリカにいるときは、つい遅くまで練習することもあったので。

学校まで3kmを歩いて通っているんですよ。授業も楽しくて、いつも前の方に座って勉強しています。



▲1998年 長野冬季オリンピック開会式の日
に生まれた加藤利緒菜さん

100%の自分を出したい

—得意な技は？

スピンの得意です。練習の秘けつはひたすら回ること(笑)。スピンのあとは一瞬目が回りますが、2~3秒でもとに戻りますね。ジャンプの中ではループ(※下図参照)が得意です。

—衣装のデザインは？

シーズンに向けて曲と振り付けが決まると、自分の中で演技のイメージがどんどん膨らんでいきます。それをもとに自分が希望する色合いを衣装担当の方に伝えてデザインしてもらいます。

—印象に残っている試合はありますか？

中学3年生のときに初めて出場した全日本選手権です。お客さんの数も多く、それまで経験してきた試合とぜんぜん雰囲気違ったのでびっくり。緊張を通り越し、別世界に来たような気がしました。でも、とても楽しかったです。

—平昌オリンピックについて

実は私、長野オリンピックの開会式の日生まれなんです。今できることを100%出せるようにしっかり演技をしたい。国際大会にもどんどん出場

できるよう努力し、オリンピックにつながればいいなと思っています。

加藤ゆかりコーチ



利緒菜がスケートを始めた頃、私はプロスケーターでした。私が教えたというより、スケートリンクへ連れて行ったら自然に滑れるようになっていました。私が練習している間に氷の上で眠ってしまったこともありましたが、幼い頃から「自分でできる！」が口癖で、子どもには難しい靴紐も自分で結んでいました。

彼女なら夢を現実にできる力があります。皆様の応援や期待もたくさん受けながら、自分がスケートをさせていただけに純粋に喜び、目標を定め、それに向かって努力を惜しまず、うまくっていき自分自身に期待して楽しんでほしい。本人に自覚と責任が出てくれば、最高の舞台に上れる。今までスケートに費やしてきた時間と心を無駄にしないよう、夢を叶えてほしい。彼女の力を信じています。

CONTENTS

- 2 特集 平昌冬季五輪をめざす 菫中学校出身 加藤利緒菜さん
- 4 トピックス ピックアップ区政会議/9月は高齢者福祉月間/「学校選択制」のご案内
- 6 お知らせ 秋の全国交通安全運動/戸建住宅等の耐震診断・耐震改修費補助/訪問型病児保育モデル事業 保育・子育てコンシェルジュ/保育所・認定こども園等の利用申込みを受付
- 8 健康 特定健康診断/COPD(慢性閉塞性肺疾患)の危険度をチェックしてみませんか? 健康講座 保健栄養コース/予防接種・結核健診・各種がん検診等の日程
- 9 相談 城東区役所での専門相談/市民法律相談/経営相談/行政相談
- 10 イベント・講座 各地域で校下人権学習会を開催/ロビーコンサート/城北川フェスティバル セレソソ大阪を応援しよう!! 城東区民デー
- 13 城東区通信 奥野区長のふるさと魅力再発見/地域活動協議会だより/わくわく子育てフェスティバル
- 14 おおさか掲示板



城東区マスコットキャラクター
コスモちゃん



モクレン 城東区の花 コスモス

知ってた? ジャンプの種類

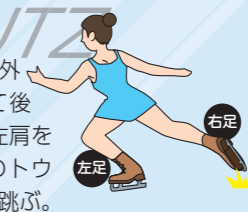
■ アクセル

難易度が最も高いジャンプ。唯一、前向きのまま踏み切るジャンプなので、見分けることは比較的簡単。



■ ルッツ

少し長めに左足の外側エッジに乗って後ろ向きに滑走し、左肩をぐっと入れて右のトゥ(つま先)について跳ぶ。



■ トウループ

右足外側のエッジに乗り、左足のトゥ(つま先)について踏み切る。



■ フリップ

ルッツとよく似ているジャンプ。左足内側のエッジに乗り、右のトゥ(つま先)について跳ぶ。



■ サルコウ

左足内側のエッジで滑りながら、右足を前上方に振り上げて跳ぶ。この瞬間、内股が「ハ」の字(スキのボーゲンのような体勢)になる。



■ ループ

右足外側のエッジで滑ってきて、右足で踏み切り、トゥ(つま先)を使わずに跳ぶ。跳ぶ瞬間に、イスに腰掛けたような格好になるのが特徴。

